

修了評価の方法

評価基準作成者： 瀧川 紀子

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲 「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から 「(9) ところとからだのしくみと生活支援技術」までとする。</p> <p>2 出題形式 四肢択一形式とする。</p> <p>3 出題数 択一問題 40 問 (配点 100 点) 全問正解 100 点満点</p> <p>4 合否判定基準 60 点以上</p> <p>5 不合格になったときの取扱い</p> <ul style="list-style-type: none">結果発表後、1 時間の補習のうえ再評価を行う。 なお、再評価に係る合格基準は 60 点以上とする。再評価の試験を最大 2 回まで実施する。 補習料：補習人数に応じ、徴収金額を設定し、別途徴収する。 再評価料：1 回あたり 1,000 円最終試験の結果、不合格となった者は、未修了扱いとなるため注意すること。
------------	---